



ワイヤレス
リモートコントローラー

RFR-1

使用説明書

はじめに

いつもプロペット製品にご愛顧を賜り、ありがとうございます。

このたびは MONO300B 用（注1）ワイヤレスリモートコントローラー RFR-1 をお買い上げ賜り、厚くお礼申し上げます。

まず初めに、付属の保証書に「ご購入日」と「販売店」が記入されている事をご確認下さい。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解の上で、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

注1: 2020年3月10日現在の対応機種は MONO300B のみです。

プロペット株式会社

東京

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-18-5 寺嶋ビル3F
Tel 03-5828-0681(代) Fax 03-5828-3890 Mail info@propet.co.jp

宇都宮工場

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3-9-15
Tel 028-656-9292 Fax 028-656-6392

本機の特徴

弊社製 MONO300B と共通性の高い操作感を実現しました。

- 直感的でシンプルな操作の MONO300B と共通の操作方法の採用により、使いやすい操作感をご提供いたします。
- MONO300B と同じ有機 EL パネルを採用し、視野角が広く、鮮明でくっきりと表示できるインフォメーションモニターを搭載しました。
- 無線でのコントロールによる、ワイヤフリーな撮影環境をご提供いたします。

細部まで設定できるコントロールパネルを搭載しました。

- 最大で 32 灯（1 グループ当たり 8 灯、4 グループの計 32 灯）の制御が可能な環境をご提供いたします。
- グループ単位での全体調光にも、一灯ずつの個別調光にも対応し、細やかな調整が可能な光源環境をご提供いたします。
- 各灯の設定を 3 パターン記憶させることができ、頻繁に使うライティングパターンを素早くセッティングすることが可能です。

入手しやすい電池を採用しました。

- 不意な電池切れが起こったとき、コンビニエンスストアなどでも入手しやすいアルカリ単四乾電池を採用しました。

安全上のご注意




警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容

なお、 注意に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告



分解禁止

分解、修理、改造をしないでください。
十分な性能を発揮できなくなるだけでなく、感電や異常動作の原因になります。



使用禁止

次のような場所や環境で使用しないでください。
・著しく温度や湿度の高い所
・水やしぶき、薬品などがかかる恐れのある所
・引火・爆発の恐れのある所
けがや感電、火災の原因になります。



警告

電池交換を行う際は、必ず電源をオフにしてから行なってください。
故障や予期せぬ事故の原因になります。



発光禁止

ストロボの発光部の直前にパラソルやトレーシングペーパーなど、燃えやすいものがある状態で発光させないでください。
火災の原因になります。



発光禁止

人の目に近付けた状態、または発光部を直視した状態で発光させないでください。
視力障害の原因になります。
※お子様を撮影する場合は特にご注意ください。



警告



接触禁止

使用中や使用直後のストロボの発光部及びレフレクターには触らないでください。
やけどの原因になります。



警告

電池は指定と同等のものを使用してください。
故障や誤動作の原因になります。



注意



感電注意

次の場合は直ちに使用を中止してください。

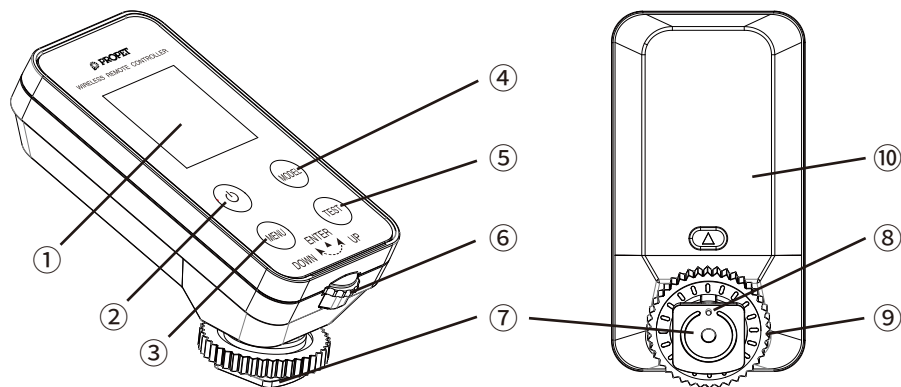
- ・落下などにより変形・破損が見つかった場合
- ・電池が異常に発熱している場合
- ・異音や異臭がした場合

感電や火災の原因になります。

ご使用上の注意とお願い

- 電源ボタンを押したにも係わらず、インフォメーションモニターにも何も表示されない場合は以下をご確認ください。
 - ・電池が正しい向きに取り付けられているかを確認してください。
 - ・電池の残量が十分かを確認してください。
上記を確認したにも係わらず症状に変化がない場合は、弊社へお問い合わせください。
 - 指定された種類以外の電池の使用はご遠慮ください。
故障の原因になります。
 - インフォメーションモニター部を強く押さないでください。
破損や故障の原因になります。
 - 長期間使用機会が無い場合は電池を外して保管してください。
電池の液漏れが起こった場合、故障の原因になります。
- ※ 電池を外した状態での長期間放置は、記憶させた設定の一部、または全部が消去される場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。
海外での使用はご遠慮ください。

各部の名称と機能



①インフォメーションモニター

各種設定や本機の状態などを表示します。

②電源ボタン

本機の電源をオン／オフしたり、スリープ／復帰させるときに使用します。

MONO300Bのメインスイッチがオンになっている場合は、連動して操作できます。

③MENUボタン

各種設定画面を開くときに使用します。設定画面を開いているときには、押すたびに一つ上位の設定項目に戻ります。

④MODELボタン

モデリングランプをコントロールします。押すたびに最大光→1/2光→1/4光→オフの順に繰り返します。

操作前の本機の状態	電源ボタン	操作後の本機の状態	操作後のMONO300Bの状態 ※1
電源オフ	短押し	変化なし	変化なし
	長押し	電源オン	電源オン、本機に設定されている出力／モデリングランプの状態に変化
電源オン	短押し	スリープ状態に移行	変化なし
	長押し	電源オフ	スリープ状態へ移行
スリープ	短押し	スリープから復帰	変化なし
	長押し	電源オフ	スリープ状態へ移行

※1 GROUPとIDが有効状態の場合

⑤TESTボタン

テスト発光を行います。

出力選択中に当ボタンを押すことで、表示中の出力への決定と同時にテスト発光を行います。

※ 個別調光、全体調光とも同じ動作です。

設定画面を開いているときは、メイン画面に戻ります。

⑥プッシュ付きダイヤルスイッチ

各項目の選択や決定を行います。

- ・ダイヤルを時計回りに回す
カーソルが下方向へ移動します。
- ・ダイヤルを反時計回りに回す
カーソルが上方向へ移動します。
- ・ダイヤルを短押し（軽く押し込み、すぐ戻す）する

選択を決定します。

※出力変更など選択中に点滅表示するものは、その状態で約3秒経過すると自動的に決定されます。

※特殊な機能

- ・メイン画面でダイヤルを約2秒間押し込んだままにすると、個別調光の画面（後述のFLASH LV）に移動します。
- ・個別調光の画面でダイヤルを約2秒間押し込んだままにすると、メイン画面（全体調光）に移動します。

- ・個別調光の画面で、出力調整中（点滅表示中）にダイヤルを約2秒間押し込んだままにすると、選択中のIDの操作の可否を選択することができます。（後述のFLASH LVの項目(2)「出力」を参照してください）。

- ・全体調光、個別調光ともに、出力変更時にダイヤルを押下したまま左右に回すことにより、出力補正値を0.1EVずつ変更することが可能です。

ヒント

押し込んで回すのではなく、押し込みながら回す（同時に行う）ようにすると、スムーズに操作しやすいです。

⑦シューブラケット

本機をカメラのアクセサリシューへ取り付ける際に使用します。

⑧シューロックピン

アクセサリシューでの位置決めの際に使用します。

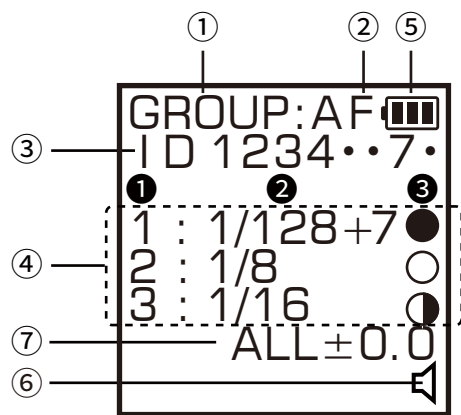
⑨固定リング

本機をカメラのアクセサリシューへ固定する際に使用します。

⑩電池カバー

電池ボックスのカバーです。

インフォメーションモニター メイン画面表示



※注: この画面では本機に設定されている各ストロボの数値や状態を表示しています。MONO300Bとは双方向通信ではないため、MONO300Bを直接操作した場合など、本機とMONO300Bの実際の設定とでずれる場合があります。全体調光を行うか、個々のIDのストロボに個別調光を行うことで、本機の表示にMONO300Bを合わせることができます。

①グループ

本機がコントロールするグループを表示します。

グループはA～Dの4つから、後述の「RF GROUP」でいずれか一つを選択します。

グループ単位での全体調光が可能です。

②発光信号送信マーク

本機が発光信号を発信した際に表示します。

③ID

コントロール可能なストロボのIDを表示します。

1～8の全IDが表示可能ですが、本機でコントロールしないことを選択したIDには「・」が表示されます。

④各ストロボの情報

各ストロボのID、出力、モデリングランプの状態を表示します。

表示幅は3つのID分までですので、プッシュ付きダイヤルスイッチを回して残りのID分を確認してください。

①各ストロボのIDを表示しています。

②各ストロボの設定されている出力を表示しています。出力はFULL～1/128の範囲で設定することができます。

③各ストロボのモデリングランプの状態を表示しています。

- : オフ
- : 最大光
- ◐: 1/2光
- ◑: 1/4光

⑤電池インジケータ

電池の状態を表示します。

■: 電池 残量: 満充電

▒: 電池 残量: 2/3

░: 電池 残量: 1/3

(電池交換の目安とお考えください)

□: 電池、残量: 空 (点滅)

電池の残量が空になると、電池インジケータの点滅が10秒間続いたあと、インフォメーションモニターに下のイラストが点滅表示されます。



この画面になると電源ボタン以外の操作を受け付けなくなり、20秒後に自動的に電源をオフにします。

電源ボタンを長押しして電源をオフするか、自動で電源が切れたあと、新しい電池に交換してください。

※電池の残量が空になると、リモートコントローラーから送信ができなくなる場合があります。

⑥スピーカーインジケータ

本機のスピーカーの状態を表示します。 ※ストロボのスピーカーの状態を表すものではありません。

🔊: スピーカー出力あり

🔊: スピーカー出力なし

⑦全体調光用出力補正值インジケータ

プッシュ付きダイヤルスイッチを短押し(軽く押し込み、すぐ戻す)した時に

点滅表示されます。表示されている出力に対し、-3.0EV～+3.0EVの範囲で調整可能です。

1. メイン画面を表示させます。

2. プッシュ付きダイヤルスイッチを短押しします。

3. 全体調光用出力補正值インジケータが点滅表示されます。

4. プッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを左右に回し、任意の補正值に合わせます。この時、プッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを押し込みながら回すことで、0.1EVずつ調整可能です。 ※出力の調整幅は初期設定では1/3EVずつとなっていますが、後述の「STEP」で変更可能です。

5. プッシュ付きダイヤルスイッチをもう一度短押しするか、そのまま3秒経過すると決定されます。

6. 1～8の全てのIDのストロボで出力が変更されません。上限はFULL、下限は1/128までとなります。

※全体調光用出力補正值インジケータの点滅中に「MENU」を押すと、調整をキャンセルできます。

例

1: FULL
2: 1/8
3: 1/128+3

↓ +0.3EV

1: FULL
2: 1/8+3
3: 1/128+6

↓ -0.7EV

1: 1/2+3
2: 1/16+6
3: 1/128

基本的な取り扱い方法

■本体のセット

- ・本機とカメラの電源がオフになっていることを確認してください。
- ・カメラのアクセサリースューに本機のシューブラケットを差し込みます。アクセサリースューにカバーが付いている場合は、あらかじめ取り外しておきます。

ブラケットの中心に付いているボール状の電極は+となります。

お手持ちのカメラが本仕様に対応していることを確認の上、ご使用ください。

- ・固定リングを回して固定してください。

■発光準備

1. 本機の電源ボタンを長押しして、電源をオンにします。
2. スプラッシュスクリーンを表示した後、メイン画面が起動します。
3. カメラの電源をオンにします。
4. プッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを左右に回し、必要な出力に合わせてください。
5. そのままの状態ですら約3秒待つか、ダイヤルを短押しすると合わせた出力にセットされます。
6. ストロボの充電が完了すれば、発光許可状態になります。
7. 以上で発光準備は完了となります。

■テスト発光

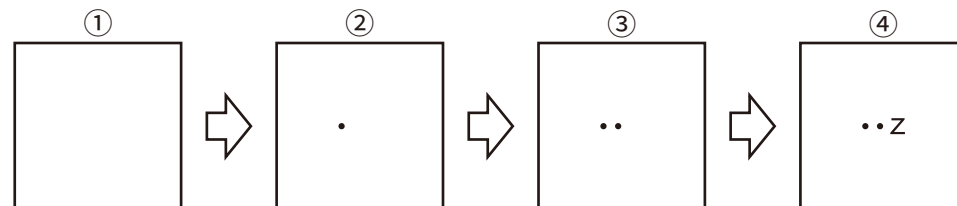
1. テストボタンを押し、正常に発光することを確認してください。
2. 発光後、ストロボは充電を完了して発光許可状態になります。
3. カメラのシャッターボタンを押し、カメラのシャッターと同調してストロボが正常に発光することを確認してください。
4. 発光後、ストロボは充電を完了して発光許可状態になります。
5. 以上の動作中に、エラーなどが発生しなければ正常に動作しています。

■スリープ機能

本機はスリープ機能を搭載しております。

本機能により、電力消費を抑えることが可能です。

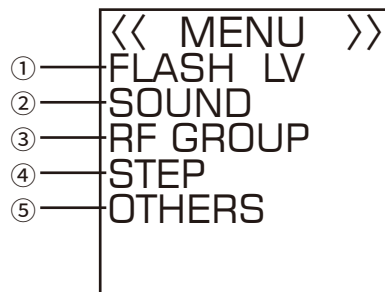
本機がスリープ状態に入ったときは、画面に以下のようなアニメーションを繰り返し表示します。



スリープには、以下の条件のときに移行します。

1. 電源がオンの状態とき、電源ボタンが押された
2. 何も操作しない状態が15分間継続した

各種設定



MENU ボタンにより、各種設定を行うことができます。

メニュー画面

①FLASH LV

各ストロボの出力とモデリングランプの個別調光、およびライティングパターンの保存／読み込みが行えます。

②SOUND

本機の操作確認音などに関する設定ができます。

③RF GROUP

本機が操作するグループを設定します。

④STEP

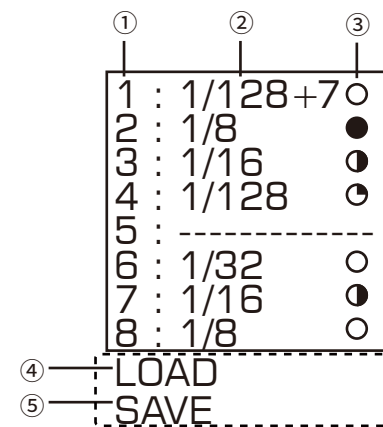
出力の変更幅を設定できます。

⑤OTHERS

その他の利用可能な機能を選択できます。

①FLASH LV

各ストロボの出力とモデリングランプの個別調光、およびライティングパターンの保存／読み込みが行えます。



番号	項目	設定値	説明
(1)	ID	表示のみ	IDを表示します。 ここで表示しているIDとストロボで設定されているIDとがリンクされています。
(2)	出力	1/128～FULL	各IDのストロボの出力を最大出力～1/128の範囲で個別に調整します。 選択時（点滅表示）にプッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを長押しすると、「-----」表示と出力表示とが切り替わります。 「-----」表示は「本機では操作しない」※1を選択したことになります。 プッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを左右に回すことで後述のSTEPで設定した値ずつ変化します。 また、ダイヤルを押し込みながら回すことで、0.1EV単位で出力補正値を調整することが可能です。 プッシュ付きダイヤルスイッチのダイヤルを1/128よりも更に「DOWN」方向に左に回すことでも「-----」表示となりますが、この方法で選択した場合は「本機では操作しない」を設定すると共に、出力を1/128に設定します。

(①FLASH LV表続き)

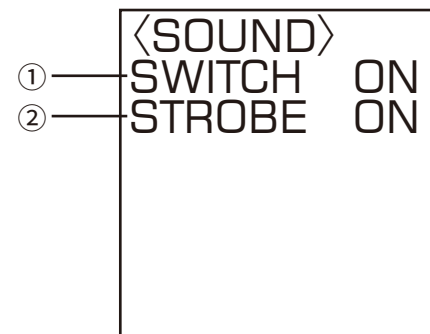
番号	項目	設定値	説明
(3)	モデリングランプ	○ ● ● ○	各IDのストロボのモデリングランプを個別に調光します。 本機のMODELボタンで調光を行います。
(4)	LOAD	SET1~3	本機に保存したライティングパターンを読み出します。 SET1~SET3のいずれかを強調表示させてダイヤルを短押しすると、読み出しを行うかどうかの確認に移ります。 読み出しを行う場合は「Yes」を、読み出しを中止する場合は「No」をダイヤルを回して選択し、短押しして決定してください。
(5)	SAVE ※2	SET1~3	現在のライティングパターンを本機に保存します。 SET1~SET3のいずれかを強調表示させてダイヤルを短押しすると、保存を行うかどうかの確認に移ります。 保存を行う場合は「Yes」を、保存を中止する場合は「No」をダイヤルを回して選択し、短押しして決定してください。

注意 LOADとSAVEは画面外に表示されているため、必要な場合は押し付きダイヤルスイッチのダイヤルを回して、画面をスクロールさせてください。

※1「操作しない」とは本機からの各コマンドを対象IDのストロボに対して送信しないということであり、電源を切ったりすることではありませんのでご注意ください。

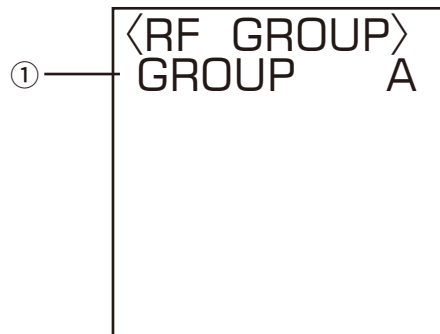
※2既にデータがあるSETを選択した場合は、そのまま上書きされてしまいますのでご注意ください。また、保存データにグループは含まれません。保存したライティングパターンは、呼出しを行った時のグループに展開されます。

②SOUND 本機の実作確認音などに関する設定ができます。



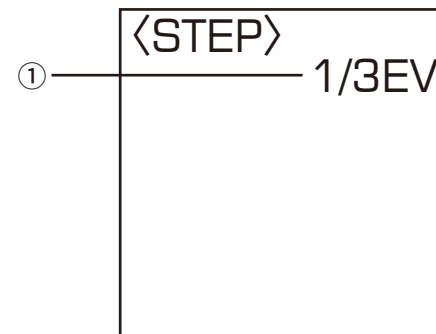
番号	項目	設定値	説明
①	SWITCH	OFF	ボタン操作時に確認音を鳴らします。
		ON	ボタン操作時の確認音を鳴らしません。
②	STROBE	OFF	ストロボの「SOUND」をオフにします。
		ON	ストロボの「SOUND」をオンにします。

③RF GROUP 本機が操作するグループを設定します。



番号	項目	設定値	説明
①	GROUP	A~D	A~Dの4グループのうち、本機が操作するグループを設定します。 本項目で設定されたグループ以外に所属しているストロボは、同IDであっても影響を受けません。

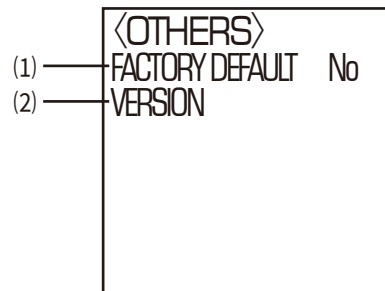
④STEP 出力の変更幅を設定できます。



番号	項目	設定値	説明
①	STEP	1/3EV	出力の変更幅を1/3EVずつに設定します。例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/8+3 → 1/8+7 → 1/4
		1/2EV	出力の変更幅を1/2EVずつに設定します。例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/8+5 → 1/4
		1EV	出力の変更幅を1EVずつに設定します。例 (UP方向へ回したとき): 1/8 → 1/4 → 1/2

※注 本項目の設定はストロボの「STEP」にも反映されます。

⑤その他の利用可能な機能を選択できます。



番号	項目	設定値	説明
(1)	FACTORY DEFAULT	No	各種設定値を工場出荷状態に戻す機能です。 「Yes」を選択することで実行されます。
		Yes	
(2)	VERSION		本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

注意 FACTORY DEFAULTを実行しても、SAVEされたSET 1～3の内容は保持されます。FACTORY DEFAULTの実行後は、メイン画面に戻ります。一旦メインスイッチをオフにしてからご使用になることをお奨めいたします。

主な仕様

型式	RFR-1 ※1
種類	無線ストロボコントローラー
通信方式	電波式
使用周波数	2420MHz／2440MHz／2460MHz／2480MHz
最大動作距離	30m ※2
制御可能最大ID数	8
グループ数	4 ※3
光量レベル切替	Full～1/128、1、1/2、1/3、1/10段ステップ
テスト発光スイッチ	あり
表示部	有機ELディスプレイ（モノクローム）
電池	単四形乾電池 2本（1.5V × 2）
節電力機能	スリープモード（電源ボタン短押し、または15分間の無操作）
	自動電源オフ（30分間の無操作）
外形寸法	(L) 95 × (W) 45 × (H) 50mm
重量 ※4	95 g
付属品	クイックリファレンスガイド、保証書

※1 日本国内専用モデルです。海外では使用できません。

※2 本機とストロボとの間に障害物や遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合です。各機器の配置や周囲の環境、気象条件などにより、通信可能距離が短くなることがあります。

※3 同時に制御可能なグループ数は1つです。

※4 電池を含みません。

故障かな?と思ったら...

電源が入らない

- 電池の残量は十分でしょうか?電池の残量が十分であることを今一度ご確認ください。
- 電池は正しい向きに取り付けられていますでしょうか?電池の取り付け直しを再度お試しください。

フラッシュが光らない、ストロボを操作できない

- 対象のIDのストロボを「」出力を、本機で「-----」に設定していませんか? メイン画面のID表示部に対象のIDが「・」表示ではなく、正しく番号が表示されていることを今一度、ご確認ください。
- 本機とストロボのグループは一致していますでしょうか? 今一度、本機とストロボの設定をご確認ください。
- ストロボは無線を受信可能な設定になっていますでしょうか? 今一度、ストロボの設定をご確認ください。

発光抜けが多発する

- 撮影場所の近くにWi-FiルーターやBluetooth機器、携帯電話やスマートフォン、電子レンジなど、2.4GHz帯の電波を使用している機器はありませんでしょうか?本機とこれらの機器は同じ周波数帯を利用しているため、影響を受ける可能性があります。本機とストロボのグループを今ご使用になられているものと異なる他の3つに切り替えて、現象が改善されるかを今一度、ご確認ください。

以上を確認しても現象が改善されない場合は、販売店様、または弊社各営業所にご相談くださいますようお願いいたします。

アフターサービスについて

保証について

保証期間は同封の保証書に記載されています。

本製品に純正部品・純正または指定のアクセサリ以外のものを使用する事によって生じた故障、事故、及び、本取扱説明書により注意、禁止した事が守られずに生じた故障、事故については一切の責任を負いかねます。

なお、消耗品類（放電管、モデリングランプ、電解コンデンサー、雲台など）は保証の対象となりません。

修理点検のご依頼について

異常が発生した時は、お求めの販売店様、または下記の弊社各営業所に修理点検をご依頼ください。

修理の際は、本体・コード類をセットにしてお出してください。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。

修理完了品をお受け取りになる時は

修理完了品に添付されている伝票には修理内容が明記されておりますのでご確認ください。

また、次回の修理の際に必要な場合もございますので大切に保存してください。

免責事項

弊社製品は一般的な写真、または動画の撮影に用いることを目的として設計・製造されたものです。

従いまして、下記に挙げるような分野や、生命にかかわるような状況下で使用される機器、またはシステムなどでの使用は一切想定されておりません。

これらの分野に於いて弊社製品を使用し、それにより損害が発生した場合でも、弊社はあらゆる損害賠償責任から免責されるものとさせていただきます。

原子力・放射線関連

宇宙・海底機器関連

輸送機器（鉄道・航空・船舶・車両設備など）

防災・防犯機器 医療機器や娯楽設備 燃焼機器や電熱機器、及び可燃性流体を使用する機器

電気／ガス／水道などの供給システム

課金に直接関わる設備／用途

大規模通信システムや、交通・航空管制システムなど高い信頼性が必要な設備・機器

官公庁、もしくは各業界の規制に従う設備

故障及び動作不良が、直接または間接を問わず、生命、身体、財産などへ重大な損害を及ぼすことが通常予想されるような、高い信頼性を要求される装置・機器

その他、上記に準ずる高度な信頼性、安全性が必要な装置・機器

また、以下のような損害や場合に関しましても、弊社はあらゆる賠償責任から免責されるものとさせていただきます。

お客様による輸送・移動・移設時の落下、衝撃等、またはお取り扱いが適切でないために生じた故障・損傷

火災・地震・水害・落雷等の天災地変及び異常電圧による故障・損傷

弊社以外で修理・調整・改造した場合、あるいは修理・調整・改造しようとした痕跡が認められる場合

製品の説明書に記載された使用方法及び注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合

直接・間接を問わず、製品が使用できないことによって生じた損害、及び付随的な損害（お客様の要求を満たさないために生じた業務上の中断、ビジネスの機会消失などによる付随的・間接的損害、逸失利益など）

保守期間は製品販売終了後最大5年といたしますが、部品の製造中止などの不可抗力により、保守期間内であっても保守が出来ない場合があることをあらかじめご了承ください。

尚、保守部品の保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合もございますので、ご購入先、または弊社営業までお問い合わせ下さい。

弊社製品のハードウェア・ソフトウェアは、性能／機能の向上の目的などにより、予告なしに変更することがあります。